

しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことがありません。

わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。

## 高松泉キリスト教会 ニュースレター

第 182 号 (2025 年 5 月号)

# い ズ ミ

香川県高松市伏石町 2018-5  
Tel & Fax 087-867-2302  
<http://izumichurch.holy.jp/>  
発行人 宮地 宏一



6月1日(日)が**現教会堂**でささげる最後の礼拝となります。来年2月に新しい教会堂が竣工予定です。その間は高松駅の近くにある高松シオン教会・浜ノ町会堂を使用させていただきます。今は引っ越しの準備で**テンヤワソヤ**です。まだ



使うものを段ボールに詰め込んで封をしてしまい、ガムテープを剥がして取り出すなんてことを繰り返し、ガッカリ・ガックリ・ショボーン。引っ越しの後も「あれがない」「あれはどこだ~!」と探している自分を想像し、先が思いやられます。

【おやこ de えほん】や【イズミンキッズ・スペシャル】も場所や形を変えて継続していく予定ですので、ホームページやインスタなどで、ぜひご確認ください。

今月も神さまからの恵みが、お一人お一人の上に豊かに注がれますように。

(2025.05.01)



### 特別扱い！？

子どものころ、**鬼ごっこ**をしていると、友だちの弟・妹が入ってくることがあったのです。すると彼らはすぐにタッチされ、鬼になってしまいます。これではあまりにも可哀そうだということで、導入されたのが「**みそつかす**」という特別待遇システムです。弟・妹にはタッチをしてはいけない。けれど彼らの存在を無視するのではなく、他の子どもたちと同じよう追いかけて、一緒に**鬼ごっこ**します。これによって小さな子たちは傷つかず、大きい子たちは**スリル感**そのまま楽しめるのです。

このような特別扱いは、難しい面もありますね。ある子を特別扱いすると、他の子が「**あの子だけズルい**」となるわけです。我が家には5人の子どもがいます。なるべく不平等感がないように心がけていますが、子どもたちに理解されないことが多いです。私の願いは将来5人中5人が「きょうだいの中で、自分が一番特別扱いされていた」と言ってくれることですが、果たして…



先日、臨床心理士の**東畠開人**氏がスクールカウンセラーの友人から聞いたことをコラムに書いていました。ある小学校に「**授業中に立ち歩き、おしゃべりをし、周囲にちょっとかいを出す**」男の子がいたのです。彼の担任は悩んだ末に、特別扱いで彼に**ミニ先生**になってもらう奇策をします。それが大成功するのです。

友人の話を聞いて、聖書に記された有名なたとえ話を思い出した。**100匹の羊を連れた羊飼いは、1匹がはぐれてしまったら、99匹を野原に置いてでも、その1匹を特別扱いで探しにいく**。ミニ先生がその1匹であるように思ったのだ。すると、ものすごく素朴に思う。「でも、99匹はどう思うんだろう？」

「みんなが豊かになるんだ。第一に羊飼いがパワーアップする」…「第二に、こちらがより重要だ。99匹はその様子をじっと見ていて、思うんだ。自分たちのときにも、ちゃんと搜してくれるんだろうって」





子どもたちはあの男の子が特別な危機にあったことがわかつっていた。そして、そういうときに特別扱いがちゃんとなされたことを見ていたのだ。すると自分が危機に陥ったときにも特別に扱ってくれるはずだと思える。…

特別扱いとは、特別なニーズがある人に特別になされるケアだ。それはもちろん、有限のリソースを1匹に割り当てる事なのに、なぜか100匹全体のケアを向上させる。ケアとは資源からの引き算ではなく、信頼の総和を大きくする掛け算なのである。

【朝日新聞 2025.3.20「社会季評」より】

イエスさまの話された「99匹の羊を置いて、1匹の迷える羊を羊飼いが探しに行き、見つかったら大喜びする」というたとえ話。これまで1匹の羊ばかりに注目していました。1匹の迷える羊こそ私のことで、羊飼いであるイエスさまが見捨てることなく、探し続けてくださることに大きな慰めを受けていたのです。残された99匹がどう思っていたかについて、あまり考えていませんでした。

当時、イエスさまが特別扱いしていたのは世間から悪者というレッテルを張られた人たち。これに対し、ユダヤ教の教師たちは「この人は罪人たちを受け入れて、一緒に食事をしている」と文句を言うのです。彼らは、きよく正しく生きる自分たちを置き去りにし、悪者を特別扱いするなんて「ズルい!」「自分たちこそ特別扱いされるべきだ」と思うわけです。

ではイエスさまは彼らに対して無関心だったのでしょうか。いいえ。彼らはすでに特別扱いされていたのです。彼らには聖書を学び、正しく生きる環境が備えられていました。



- 礼拝 毎週日曜日 10:30~12:00
- イズミン・キッズ 毎週日曜日 9:30~10:20
- おやこ de えほん 毎週水曜日 10:30~12:00

\* どなたでも歓迎いたします！すべて事前申込みなしで参加いただけます。

上記の他に様々な相談や聖書の学びをすることができます。お気軽にお問い合わせください。

その特別な恵みに感謝し、独りぼっちで、誰も搜してくれない迷える者を切り捨てるのではなく、ご自分と一緒に彼らを捜し、彼らが特別扱いされることを一緒に喜んで欲しいとイエスさまは願っていたのです。

私たちも「あの人だけ、ズルい」「なんで私を特別扱いしてくれないのだろう」と思うことがあります。私たちはとにかく「愛されたい」「認められたい」「特別でありたい」という願望があるので。もうすでに愛され、認められ、特別な存在であるのに、それが理解できない。結局、私たちは人生に迷っているのです。

そんな私たちの名前を呼びながら、イエスさまは私たちを捜し、私たちが「ここにいます！」と応答するのを待っておられます。このように私たちはイエスさまから捜されている特別な存在なのです。それだけではありません。私たちは神さまから時にかなったふさわしい助けが与えられ、誰一人例外なく神さまに特別扱いされているのです。

でも時に「あの人の方が…」と思ってしまう弱さが確かにあります。そのとき神さまが自分にしてくださった特別扱いの数々を思い出しができたら感謝です。そうしたら私たちの内から少しずつ妬みが消え「本当に良かったね」と他の人になされた特別扱いに共感でき、「みんなが豊かになる」ことでしょう。

今日も神さまは「わたしが特別に愛する○○よ」と呼んで、あなたを捜し、あなたを特別に扱ってくださるのです。



人の子(イエスさま)は、失われた者を捜して救うために来たのです。[聖書]

